

# 2013年3月期 第2四半期 決算説明会

2012年11月15日

**VISTA3S**  
VALUE, IMPRESSIONS, SPECIALIZATION,  
TECHNOLOGY, ADAPTABILITY  
2010.4-2013.3

2つの分野で、  
ぜんりょく、山善。



株式会社 **山善**

# AGENDA

- I. 2013年3月期(第2四半期)決算概要
- II. 中期経営計画進捗、当期の取り組み
- III. 2013年3月期の業績予想
- IV. 株主還元

## I. 2013年3月期(第2四半期)決算概要

1. 2013年3月期(第2四半期)連結損益実績
2. 経常利益の増減要因
3. 事業別売上高実績(連結)
4. 事業別概況
5. 財務の状況、キャッシュフロー



## 2013年3月期(第2四半期) 連結損益実績①

### ■ 連結損益計算書

(単位:百万円)	2012年3月期 (第2四半期)	2013年3月期 (第2四半期)	増減率 %	公表計画 (期初)	計 画 対 比 %
売 上 高	181,012	<b>187,361</b>	3.5	186,000	100.7
売上総利益 (総利益率)	23,489 (13.0%)	<b>23,560</b> (12.6%)	0.3 (△0.4)	—	—
販売管理費	18,113	<b>18,179</b>	0.4	—	—
営 業 利 益	5,376	<b>5,380</b>	0.1	5,500	97.8
経 常 利 益	5,575	<b>5,641</b>	1.2	5,700	98.9
特 別 利 益	0	<b>3</b>	—	—	—
特 別 損 失	94	<b>239</b>	154.6	—	—
四半期純利益	3,309	<b>3,364</b>	1.7	3,350	100.4

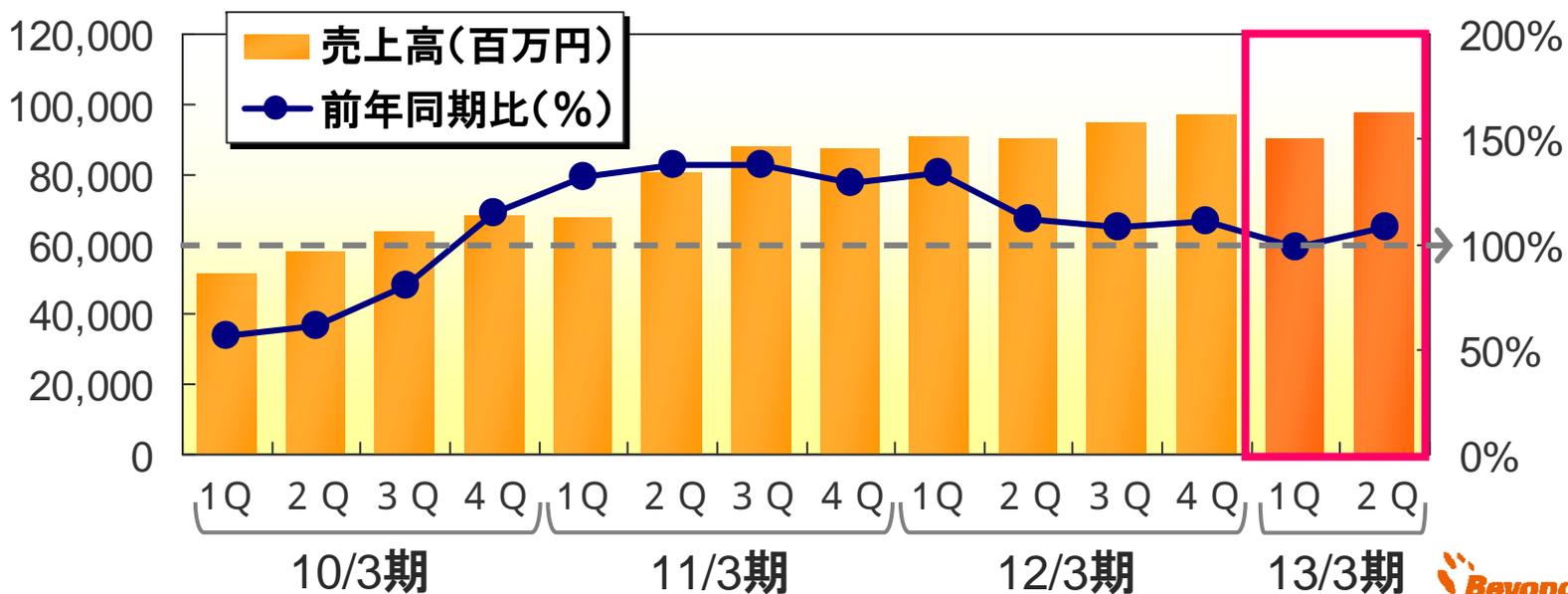
➤ 個人消費分野が低調も、国内外の設備関連が堅調で微増収・微増益に。



# 2013年3月期(第2四半期) 連結損益実績②

## ■ 四半期推移

(単位:百万円)	3Q 2011 10-12	4Q 2012 1-3	1Q 2012 4-6	2Q 2012 7-9
売上高	94,970	96,846	89,880	97,481
営業利益	2,881	2,270	2,357	3,023
経常利益	3,085	2,494	2,540	3,101
四半期純利益	1,747	△ 123	1,564	1,800





# 経常利益の増減要因

**5,575** 2011年9月经常利益※

(単位:百万円)

<内 訳>

	<b>売上総利益増加 (増益要因)</b>	<b>+ 70</b>	485 国内生産財事業の増益
			3 海外生産財事業の増益
			▲ 8 住建事業の減益
			▲ 497 家庭機器事業の減益
			86 その他
	<b>販売管理費増加 (減益要因)</b>	<b>▲ 66</b>	▲ 277 人件費関連増加
			▲ 79 運賃増加
			350 貸倒引当金繰入額の減少
			▲ 102 支払手数料の増加
			43 その他販管費減少
<b>営業外収支 (増益要因)</b>	<b>+ 61</b>	76 デリバティブ評価益	
		24 受取利息増加	
		16 支払利息減少	
		▲ 56 その他営業外収支差	

**5,641** 2012年9月经常利益

※前期(66期)より中国子会社(上海とシンセン)の決算期を統一(仮決算による)したことで、前期は2011/1月~2011/9月の9ヶ月の損益を連結しており、当期と比較すると前期には212百万円(1月~3月の3ヶ月分)のプラス影響あり。





YAMAZEN

## 事業別売上高実績(連結)

### ■ 前年同期、計画対比

(単位:百万円、%)	2012年3月期 (第2四半期)	2013年3月期 (第2四半期)	前年同期 増減率	公表計画 (期初)	計画 対比
機 械 事 業 部	22,402	<b>25,594</b>	14.2	25,500	100.4
機 工 事 業 部	52,598	<b>55,511</b>	5.5	53,500	103.8
(国内生産財小計)	75,000	<b>81,106</b>	8.1	79,000	102.7
国 際 事 業 本 部	39,704	<b>42,738</b>	7.6	40,000	106.8
(生産財関連計)	114,704	<b>123,844</b>	8.0	119,000	104.0
住 建 事 業 部	24,763	<b>24,867</b>	0.4	25,000	99.5
家庭機器事業部	38,596	<b>35,361</b>	△ 8.4	39,000	90.7
(消費財関連計)	63,360	<b>60,229</b>	△ 4.9	64,000	94.1
そ の 他 部 門	2,946	<b>3,287</b>	11.5	3,000	109.5
合 計	181,012	<b>187,361</b>	3.5	186,000	100.7

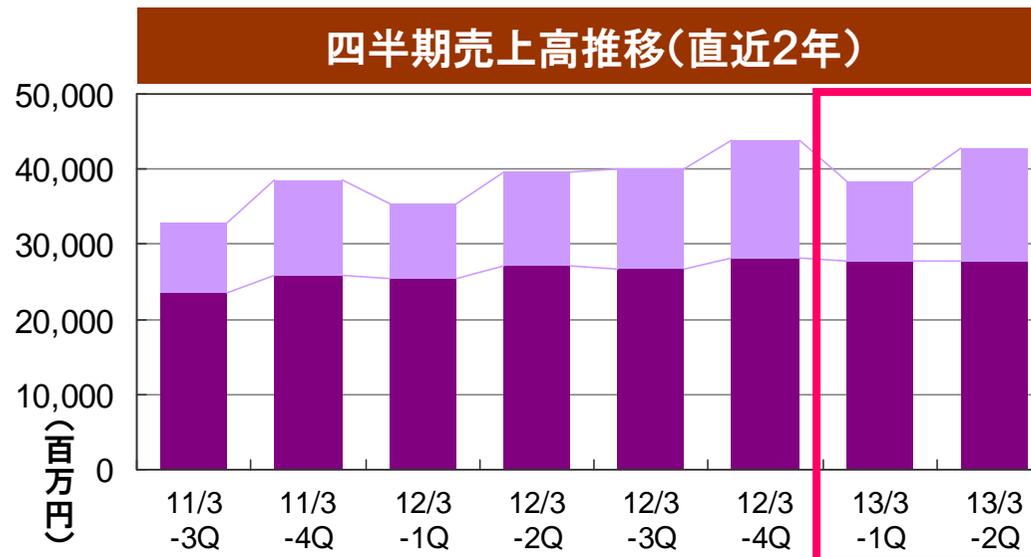
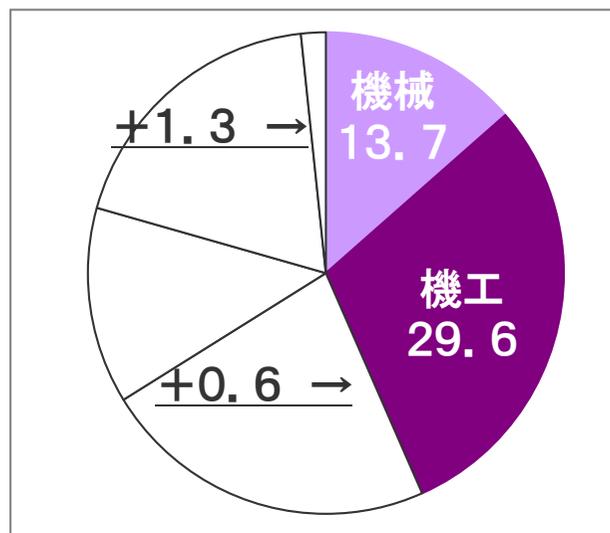


## 事業別概況①:国内生産財関連(機械/機工事業部)

(単位:百万円、%)			前期実績	2013年3月期(第2四半期)		
生 産 財	機 械 事 業 ( 国 内 )	売 上 高	22,402	<b>25,594</b>	増減率	14.2%
		営 業 利 益	661	<b>918</b>	利益率	3.6%
	機 工 事 業 ( 国 内 )	売 上 高	52,598	<b>55,511</b>	増減率	5.5%
		営 業 利 益	1,281	<b>1,354</b>	利益率	2.4%



- 工作機械は自動車向け設備が堅調で、増収増益。
- 機工関連も生産回復や、復興需要を背景に、切削工具や測定機器等を中心に、緩やかに伸展し、増収増益。



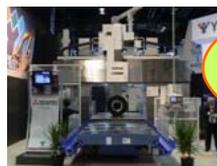


## 事業別概況②：海外生産財関連(国際事業本部)

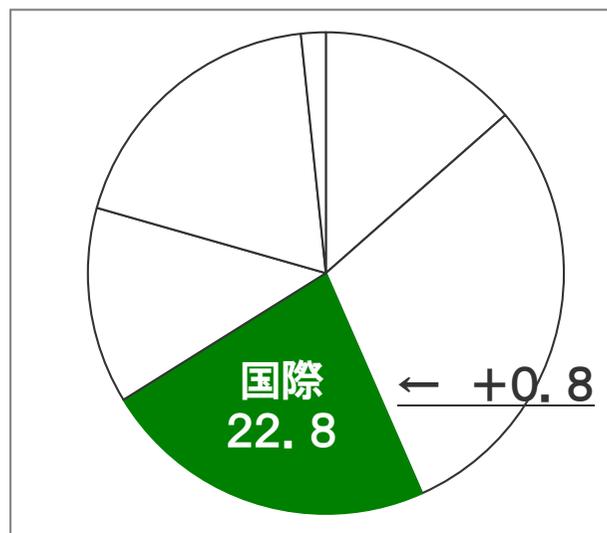
(単位:百万円、%)			前期実績	2013年3月期(第2四半期)		
生産財 (海外)	国際事業	売上高	39,704	42,738	増減率	7.6%
		営業利益	2,068	2,170	利益率	5.0%



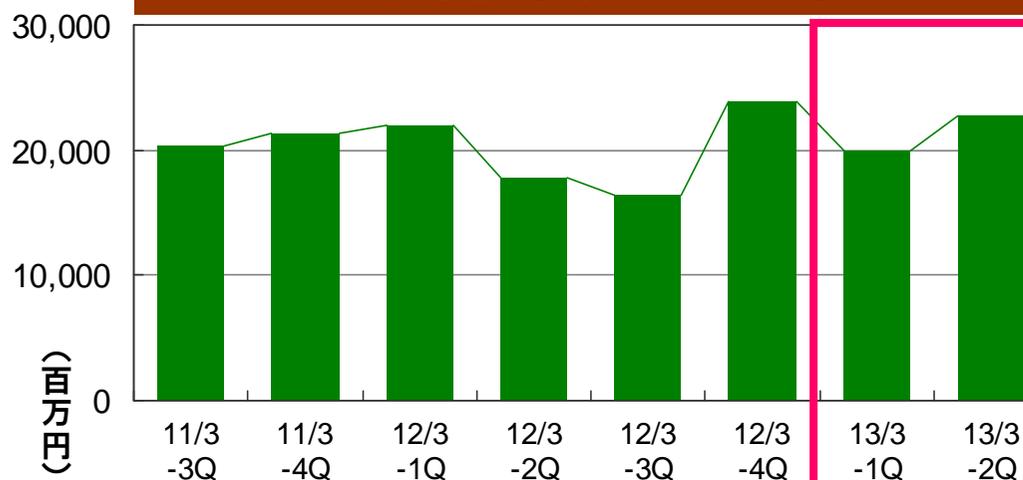
- 海外向けは、タイの復興需要分やEMS向け、あるいは北米の自動車部品加工向けなどの納入が順調で、工作機械にとどまらず、付随して周辺の機工分野も堅調に推移し、増収増益。



中国向けで直接的な被害はなし。今後の間接的な影響については未定。



### 四半期売上高推移(直近2年)



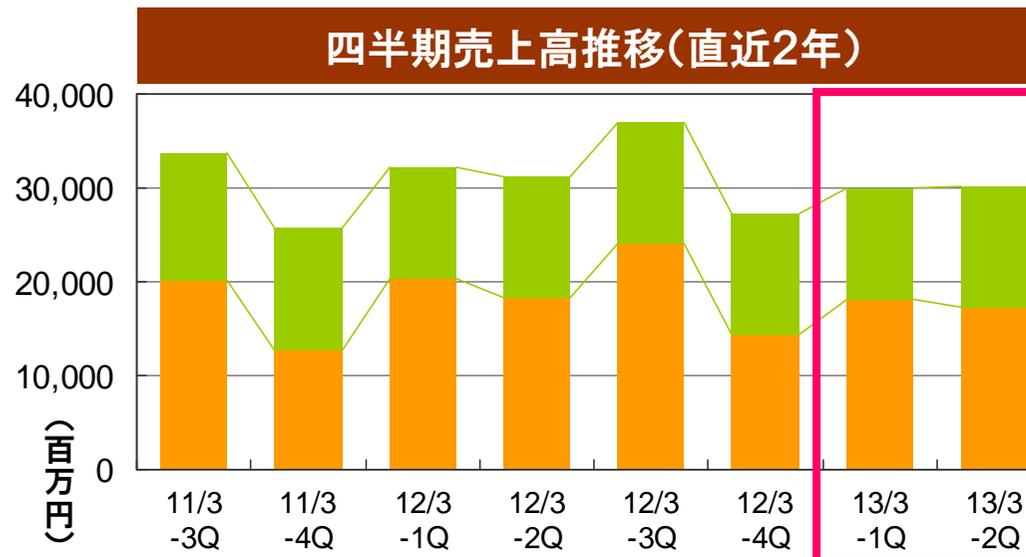
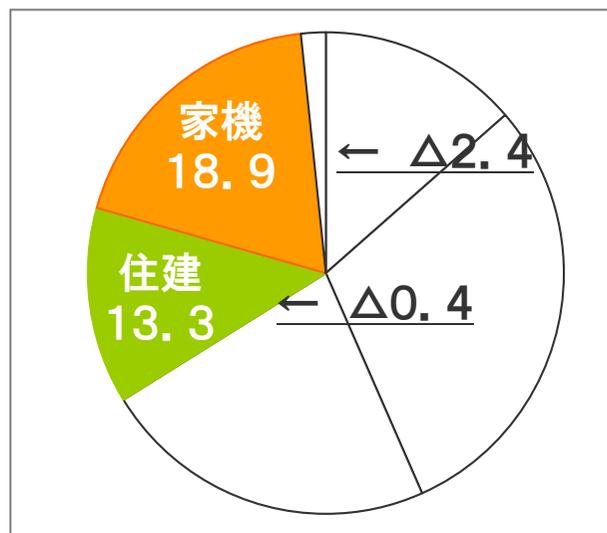


## 事業別概況③：消費財関連(住建/家庭機器事業部)

(単位:百万円、%)		前期実績	2013年3月期(第2四半期)			
消費財	住建事業	売上高	24,763	<b>24,867</b>	増減率	0.4%
	(国内)	営業利益	557	<b>566</b>	利益率	2.3%
	家庭機器事業	売上高	38,596	<b>35,361</b>	増減率	△8.4%
	(国内)	営業利益	2,125	<b>1,339</b>	利益率	3.8%



- ❑ 住建は、震災後のエネルギー問題から電化リフォーム需要(エコキュート等)が減退したが、太陽光発電の伸展により前期並みを確保。
- ❑ 家庭機器は昨季の特需(地デジ化、防災)反動により、減収減益。





YAMAZEN

# 財務の状況、キャッシュフロー

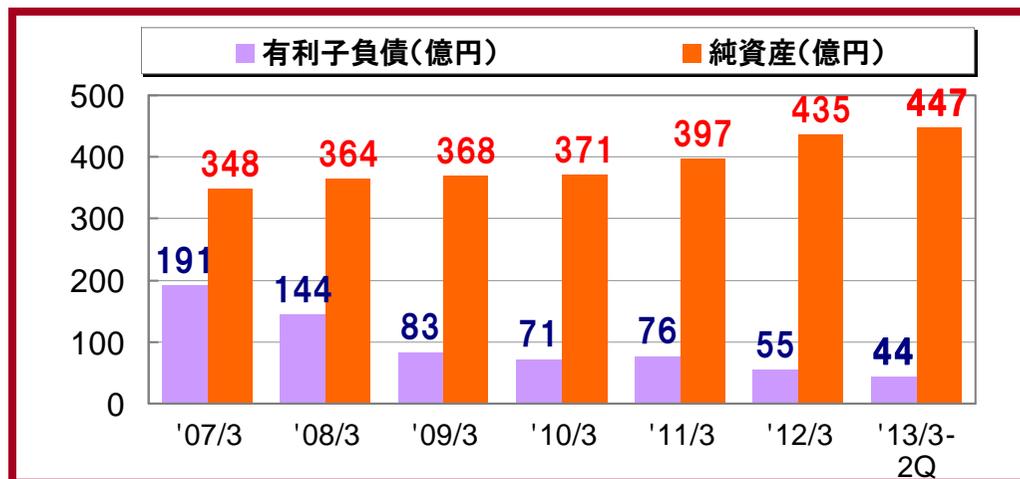
## 貸借対照表

資産	負債・資本
流動資産 1,365	流動負債 1,087
固定資産 181	固定負債11
総資産 1,547	純資産 447

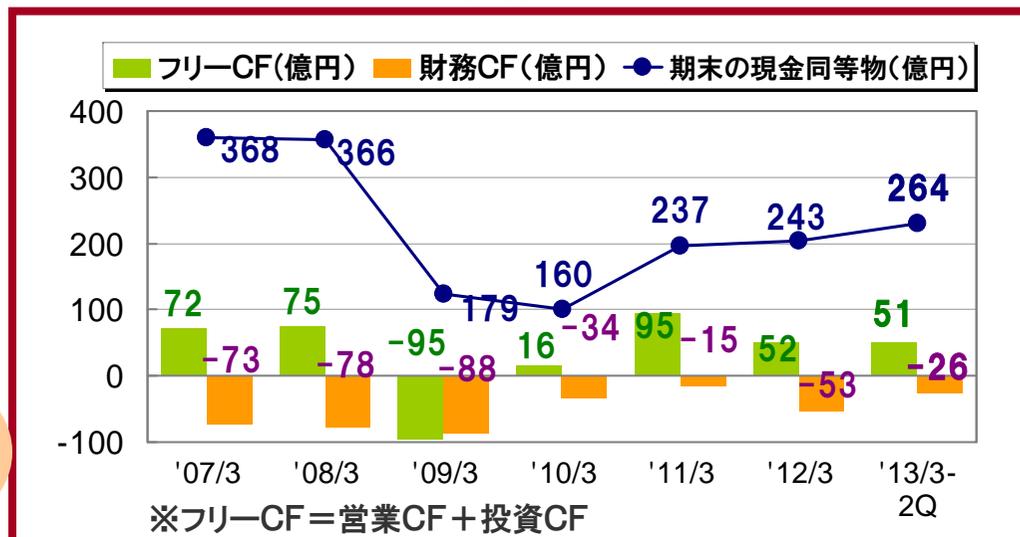
自己資本  
比率  
28.9%

(2012年9月末現在/単位:億円)

## 有利子負債／純資産推移



## キャッシュフロー推移



## Ⅱ. 中期経営計画の進捗、当期の取り組み

1. 「VISTA-3S」で目指すもの
2. 「VISTA-3S」トピックス & 当期の取り組み
3. 「VISTA-3S」3カ年定量計画(連結)



# 「VISTA-3S」で目指すもの

## VISTA 3S

VALUE, IMPRESSIONS, SPECIALIZATION,  
TECHNOLOGY, ADAPTABILITY  
2010.4~2013.3

### 3つのテーマ、 10のアクション。

質重視によるCDへ	国内外の顧客に、ボーダレスでワンストップなソリューションを実現します。	 	流通でのイニシアティブ	工作機械/内外需受注のトップシェアを狙います。	
	エンジニアリング機能と拠点網を充実させ、「質」の高いサービスを築きます。	 		機械周辺機器で国内No.1の取扱シェアを目指します。	
特性を活かす	商社/ファブレス企業という特性を活かし、海外での新市場開拓と商品開発を進めます。	 	ネット拡大	コンシューマ分野でPB商品のカテゴリNo.1へ。主要取引先のインスタシェア3%を狙います。	
マーケット・インへ	国内外とも、高いスキルとノウハウを兼ね備えた人材の育成と、それを支えるITインフラの整備を進めます。	 		BtoB & C共に、ネットの取扱高を倍増させます。	 
	マーケットやニーズに即した事業体の再構築を実施します。		環境対応	環境関連機器の売上シェア25%へ。エネルギー関連機器、太陽光発電、エコキュートの分野において国内トップクラスの取扱いを目指します。	 

3つの戦略テーマ(Strategy)で“イノベーション(新機軸)”を起こし、付加価値力、感動力、専門力、技術力、変化適応力を兼ね備えた企業へ。

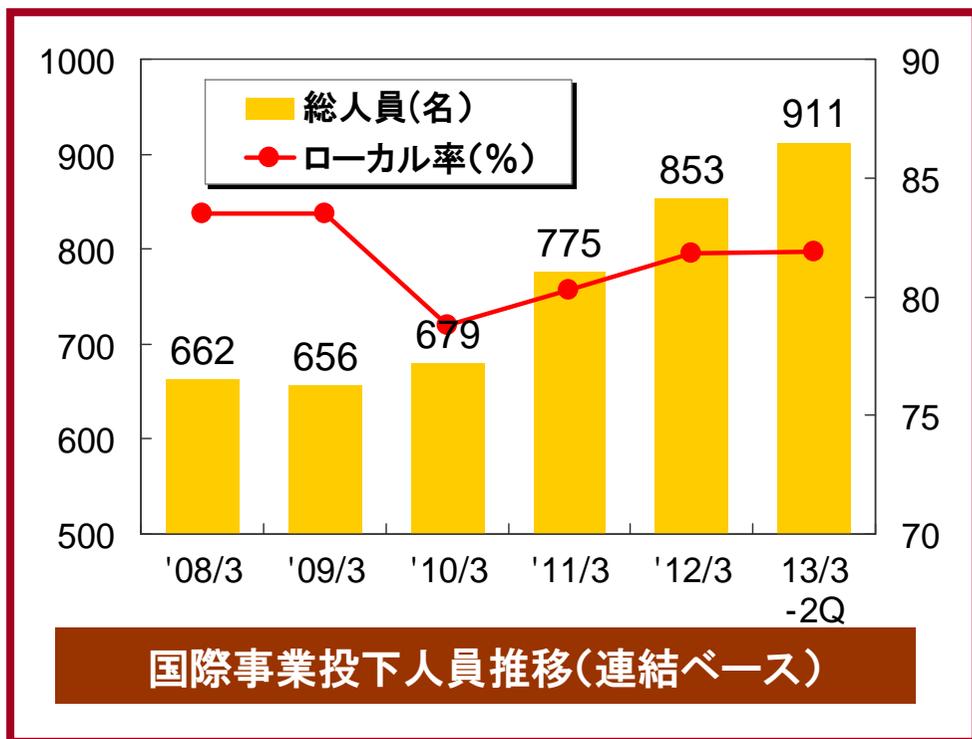


# 「VISTA-3S」トピックス & 当期の取り組み①: 海外展開



## グローバル対応

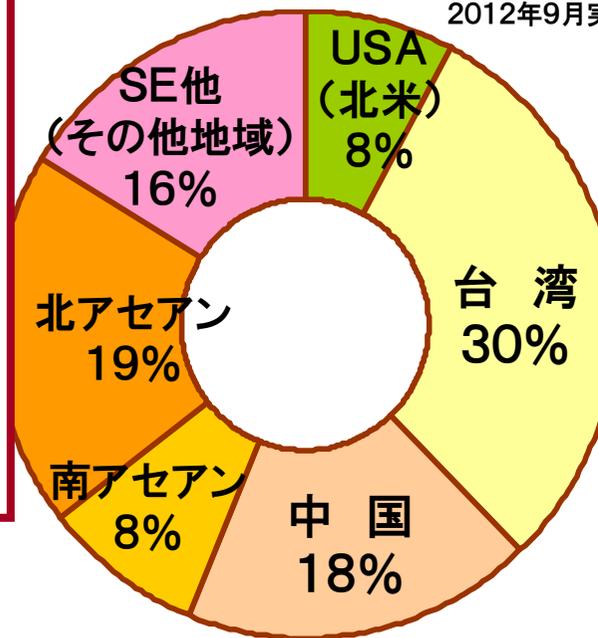
- 計画期間中、4現法を設立、2駐在員事務所を設置。
- 人員は1.3倍に増員。エンジニアも200名超に拡充。



- 生産財以外でも、今期中に中国・タイへ建築設備・建材の販売ルートの基盤整備に着手。

## 地域別売上構成比(連結ベース)

2012年9月実績



※北アセアン=タイ・ベトナム・インド・フィリピン  
 ※南アセアン=シンガポール・マレーシア・インドネシア



# 「VISTA-3S」トピックス & 当期の取り組み②: 生産財

## VISTA 3S

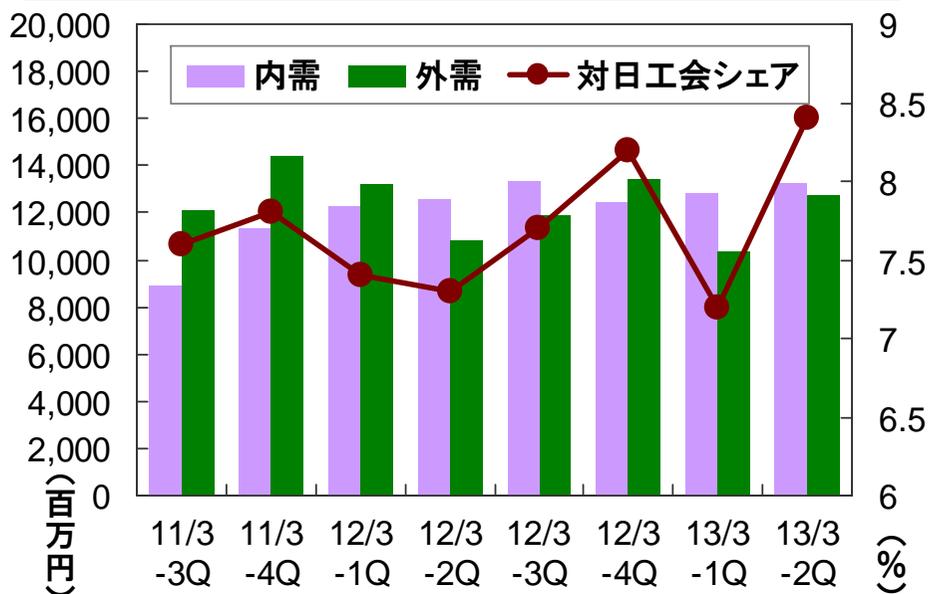
2010.4~2013.3

### シェア拡充

- 機械累計受注額: 490 億円(前年同期104%)
  - ⇒ 累計シェアは7.8% (前期末比+0.3)に。



### 工作機械受注／四半期推移(直近2年)



### 機工事業／カテゴリ別売上実績

	(単位:百万円)	'13/3-2Q	前年同期比
①	マテハン機器	6,564	108%
②	メカトロ機器	7,702	99%
③	環境改善機器	3,283	110%
④	切削・補要工具	10,543	106%
⑤	測定・計測機器	2,688	114%
⑥	流体機器	3,536	100%
⑦	産業機器	13,956	112%
⑧	空調設備機器	1,442	110%
⑨	その他	5,798	91%
	合計	55,511	105%

- 機工取扱商品を主要8カテゴリーに再編、各トップメーカーとの取り組みを強化。



# 「VISTA-3S」トピックス & 当期の取り組み③: 住建

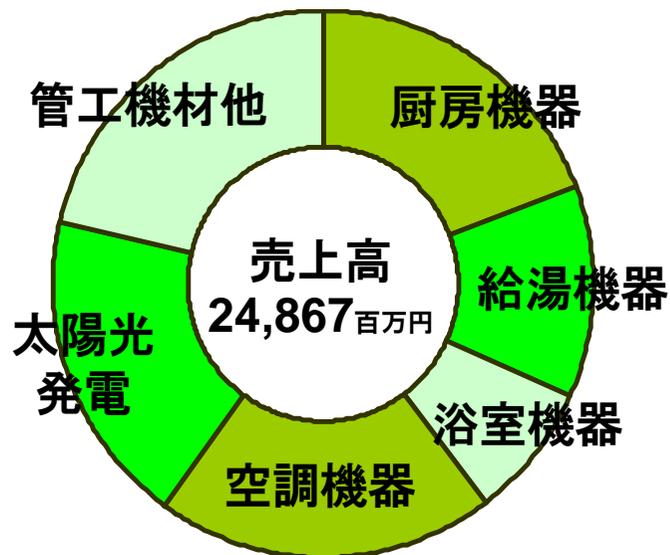
## VISTA 3S

2010.4~2013.3

シェア拡充  
環境ビジネス

- 住建内の環境関連商品の売上は121億円(前年同期101%)、全体の47%のウェイトに拡大。

### 住建事業/カテゴリ構成比



2012年9月実績

太陽光発電の販売件数  
**15,000件突破!!**

ラクラク簡単  
お見積!!

スタート▶

- 太陽光発電(産業用含む)通期目標: 43MW/120億円(前期150%)

### グリーンボールプロジェクト実績推移





# 「VISTA-3S」トピックス & 当期の取り組み④: 家庭機器

## VISTA 3S

2010.4~2013.3

商品力

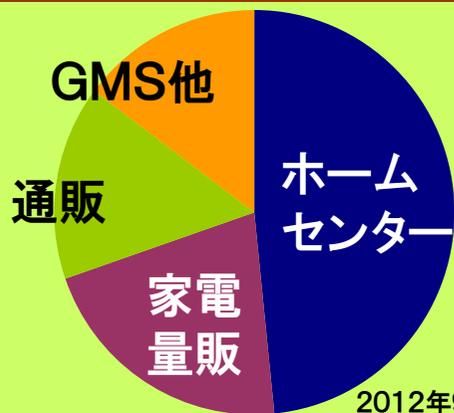


扇風機  
314万台  
(+16万台)



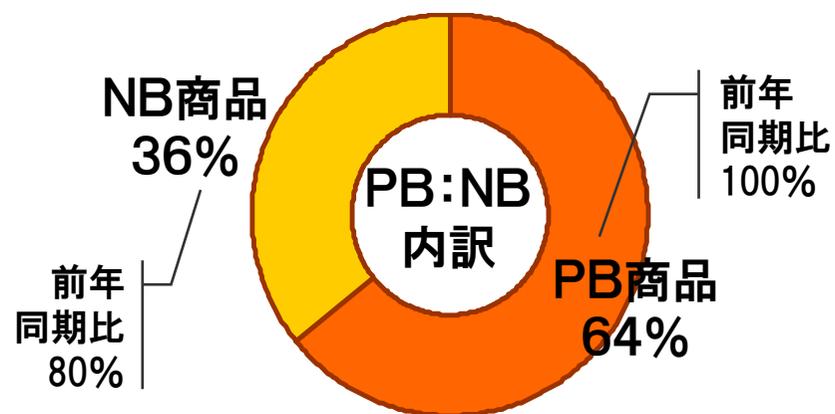
こたつ  
49万台(計画)

販路別構成比



家庭機器事業/ジャンル別売上実績

	(単位:百万円)	'13/3-2Q	前年同期比
①	家電・電機	18,816	97%
②	インテリア	5,991	84%
③	園芸・エクステリア	3,094	116%
④	レジャー・スポーツ	3,052	96%
⑤	工具	2,702	81%
⑥	家庭用品他	1,703	59%
	合計	35,361	92%





## 「VISTA-3S」3ヵ年定量計画(連結)①

### ■ 損益計画(公表)

(単位:百万円)	2010年3月期 (実績)	2011年3月期 (実績)	2012年3月期 (実績)	2013年3月期
売上高	241,410	323,703	372,830	<b>375,000</b>
営業利益	836	7,415	10,528	<b>11,000</b>
経常利益	955	7,623	11,155	<b>11,300</b>
当期純利益	438	4,363	4,933	<b>6,200</b>

### ■ 主要財務指標(公表)

(単位:%)	2010年3月期 (実績)	2011年3月期 (実績)	2012年3月期 (実績)	2013年3月期 (2Q実績)
売上高営業利益率	<b>0.3%</b>	2.3% (初期目標1.1%)	2.8% (初期目標2.2%)	2.9% (通期目標2.5%)
総資産営業利益率 (ROA)	<b>0.7%</b>	5.6% (初期目標2.3%)	6.9% (初期目標5.0%)	半期3.4% (通期目標5.5%)
CFマージン率	<b>0.6%</b>	2.6% (初期目標1.0%)	1.3% (初期目標1.7%)	2.4% (通期目標2.5%)



## 「VISTA-3S」3カ年定量計画(連結)②

### ■ 事業別売上高計画

(単位:百万円、%)	2010年3月期 (第64期)	2011年3月期 (第65期)	2012年3月期 (第66期)	2013年3月期 (第67期)	対64期 成長率
機 械 事 業 部	26,529	39,583	51,495	52,000	196%
機 工 事 業 部	78,136	95,816	107,511	110,000	141%
(国内生産財小計)	104,667	<b>135,400</b>	<b>159,006</b>	<b>162,000</b>	<b>155%</b>
国 際 事 業 本 部	31,876	73,697	79,950	80,000	251%
(生産財関連計)	136,541	<b>209,096</b>	<b>238,956</b>	<b>242,000</b>	<b>177%</b>
住 建 事 業 部	47,751	50,645	50,519	51,000	107%
家 庭 機 器 事 業 部	53,941	60,455	77,104	76,000	141%
(消費財関連計)	101,692	<b>111,101</b>	<b>127,623</b>	<b>127,000</b>	<b>125%</b>
そ の 他 部 門	3,173	3,504	6,249	6,000	189%
合 計	241,410	<b>323,703</b>	<b>372,830</b>	<b>375,000</b>	<b>155%</b>

## Ⅲ. 2013年3月期の業績予想

1. 2013年3月期定量計画
2. 事業部別計画(連結)





## 2013年3月期(第67期)定量計画

➤ 売上高・収益とも、前期並みを堅持しつつ、増収増益にチャレンジ！

(単位:百万円)	2012年3月期(第66期)		2013年3月期(第67期)			
	2Q実績	通期実績	2Q実績	増減率%	通期計画	増減率%
売上高	181,012	372,830	<b>187,361</b>	3.5	<b>375,000</b>	0.6
< 単体 >	166,596	344,113	<b>170,583</b>	2.4	<b>350,000</b>	1.7
営業利益	5,376	10,528	<b>5,380</b>	0.1	<b>11,000</b>	4.5
< 単体 >	3,716	7,676	<b>3,597</b>	△ 3.2	<b>8,500</b>	10.7
経常利益	5,575	11,155	<b>5,641</b>	1.2	<b>11,300</b>	1.3
< 単体 >	3,940	8,291	<b>3,896</b>	△ 1.1	<b>8,800</b>	6.1
当期純利益	3,309	4,933	<b>3,364</b>	1.7	<b>6,200</b>	25.7
< 単体 >	2,215	2,988	<b>2,149</b>	△ 3.0	<b>4,800</b>	60.6



## 事業部別計画(連結)

(単位:百万円、%)			2012年3月期	2013年3月期計画(修正)			増減率
生	機械事業	売上高	51,495	<b>52,000</b>	構成比	13.9	1.0
		(国内) 営業利益	1,688	<b>2,000</b>	利益率	3.8	18.5
産	機工事業	売上高	107,511	<b>110,000</b>	構成比	29.3	2.3
		(国内) 営業利益	2,488	<b>3,000</b>	利益率	2.7	20.6
財	国際事業	(海外) 売上高	79,950	<b>80,000</b>	構成比	21.3	0.1
		営業利益	3,919	<b>3,750</b>	利益率	4.7	△4.3
消	住建事業	売上高	50,519	<b>51,000</b>	構成比	13.6	1.0
		営業利益	1,118	<b>1,300</b>	利益率	2.5	16.3
費	家庭機器事業	売上高	77,104	<b>76,000</b>	構成比	20.3	△1.4
		営業利益	3,570	<b>3,100</b>	利益率	4.1	△13.2
財	その他・調整	売上高	6,249	<b>6,000</b>	構成比	1.6	△4.0
		営業利益	△2,256	<b>△2,150</b>	利益率	—	—
全	社	費					
		計	売上高	372,830	<b>375,000</b>	構成比	100.0
合	計	営業利益	10,528	<b>11,000</b>	利益率	2.9	4.5

## IV. 株主還元

1. 株主還元、配当性向について
2. 当期の配当





## 株主還元、配当性向について

### □ 基本的な考え方

- △ 企業体質の一層の充実強化と収益力の向上を図り、株主の皆様へ安定的な配当を基本とした上で、利益水準を考慮し、連結配当性向は25%を目途に利益還元を行います。
- △ 内部留保金につきましては、株主資本の一層の充実を図りつつ、持続的な事業発展の実現に向けて有効な投資に充当し、中長期的な成長による企業価値向上を通じて、株主の皆様のご期待に応えてまいります。

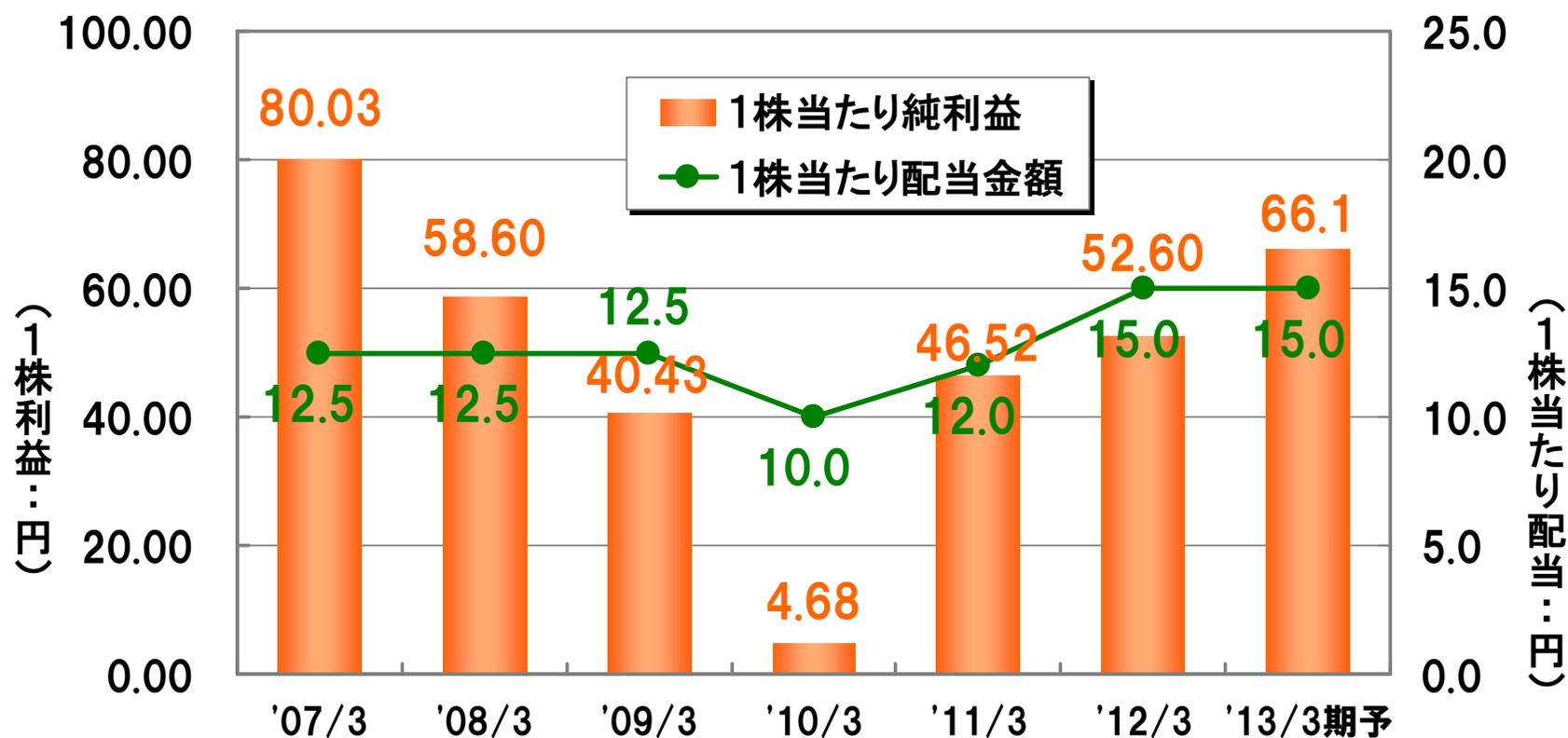
### ■ 配当金の推移

		'08/3実	'09/3実	'10/3実	'11/3実	'12/3実	'13/3予
連結配当性向		21.3%	30.9%	213.7%	25.8%	28.5%	22.7%
配当金額	中間	5.0円	5.0円	5.0円	5.0円	7.0円	7.0円
	期末	7.5円	7.5円	5.0円	7.0円	8.0円	8.0円



## 当期の配当

- 連結配当性向:22.7%を予定。
- 配当金額:中間7.0円+期末8.0円=年間15.0円。





この資料には、当社の計画及び業績見通し等が含まれております。将来の計画や予想数値などは、現状の入手可能な情報により、計画・予測したものであります。実際の業績等は、今後の様々な条件・要素によりこの計画等とは異なる場合があります、この資料はその実現を確約したり、保証するものではありません。